

「長浜小学校の長浜小波濤太鼓伝承活動の取組」

1 学校名

薩摩川内市立長浜小学校

2 学年・人数

4・5・6年生（計13人）

3 日時・場所

(1) 練習の日時・場所

令和4年11月～令和5年2月 長浜小学校体育館

(2) 発表の日時・場所

令和5年2月10日（金） 長浜小学校学習発表会（長浜小学校体育館）

4 伝承・活用に取り組んでいる郷土芸能について

(1) 名称

長浜小波濤太鼓（ながはましょうはとうだいこ）

(2) 由来

波濤太鼓保存会は昭和59年、地域おこしの一環として、「新たな郷土芸能を」と青年層を中心に発足した。その後、小学校高学年をメンバーとして団を結成し、毎年、学習発表会等で披露するようになった。今年度で発足36年目を迎える。

(3) 構成等

冬の荒れ狂う海の壮絶さと、どこまでも青く澄んだ海の穏やかさをイメージして作られた勇壮な太鼓である。

前列に3張りの締太鼓、中列に4張りの中太鼓、後列に3張りの大太鼓を配置し、中・大太鼓は1～2人で叩き合う。約8分間の演奏である。

5 保存会や地域との連携の具体

地域の継承者が指導者となって小学生を指導している。現在中心となる指導者は1人である。多忙にも関わらず、定期的に指導に来てくださる。（学校と指導者で連絡を取り合い、練習日時等を決定している。）

学習発表会での発表に向けて、11月から、週2回程度練習を行っている。1回の練習時間は約1時間であり、教職員も参加・指導をしている。初心者に対しては、バチさばきからリズムなど指導して下さり、リズムをしっかりと身に付けるまで、熱心な指導をして下さっている。また、昼休みには自主練習もあり、教職員が毎回指導に当たっている。

6 文化財伝承・活用の取組の工夫した点

学校と地域が連携協力しながら継承していくために、上記の様に本来は、5・6年生がメンバーではあるが、児童数の減少に伴い、4年生も参加することになったため、教職員も毎回、指導者のサポートをする等、学校全体で取り組んでいる。

7 取組の様子（練習状況、発表の場等）



体育館での放課後練習の様子（今年度）



学習発表会での発表（昨年度の様子）

8 参加児童生徒・保護者・保存会・教員等の感想・意見

【児童】

- ・ 4年生になって、太鼓を叩けるのをとても楽しみにしていました。友達と一生懸命練習して、みんなが「すごい」と言われるようにがんばりたいです。
- ・ 長浜小学校に長年受け継がれている波濤太鼓を叩けることをうれしく思います。学習発表会に向けて、すばらしい演奏ができるようにがんばります。
- ・ 長浜小波濤太鼓は、長浜小学校に伝えられている大切な伝統芸能なので、これからも続くように、後輩たちと一緒に引き継いでいきたいです。
- ・ 中川さんの練習は難しくて厳しいけど、最後まで頑張りたいです。

【保護者から】

- ・ 子供たちが真剣に太鼓に打ち込んでいる姿を見て、うれしく思います。学習発表会での発表が楽しみです。子供たちの成長した姿を見ることができず。毎年楽しみです。

【教職員】

- ・ 体育館から太鼓の音が聞こえると、「太鼓が始まった」という感じがします。また、子供たちの真剣な様子にいつも感動します。長浜小学校の伝統として、今後も受け継がれていくように指導していきたいです。
- ・ 子供たちの指導が大変ですが、日々の練習で上達する姿に感心します。学習発表会でも素晴らしい発表を期待しています。

【地域の方から】

- ・ 地域の伝統文化として、波濤太鼓が継承されていることをすばらしく思います。新型コロナウイルス感染拡大防止のため、参観できませんが、今後も長浜小の学習発表会での発表を楽しみにしています。